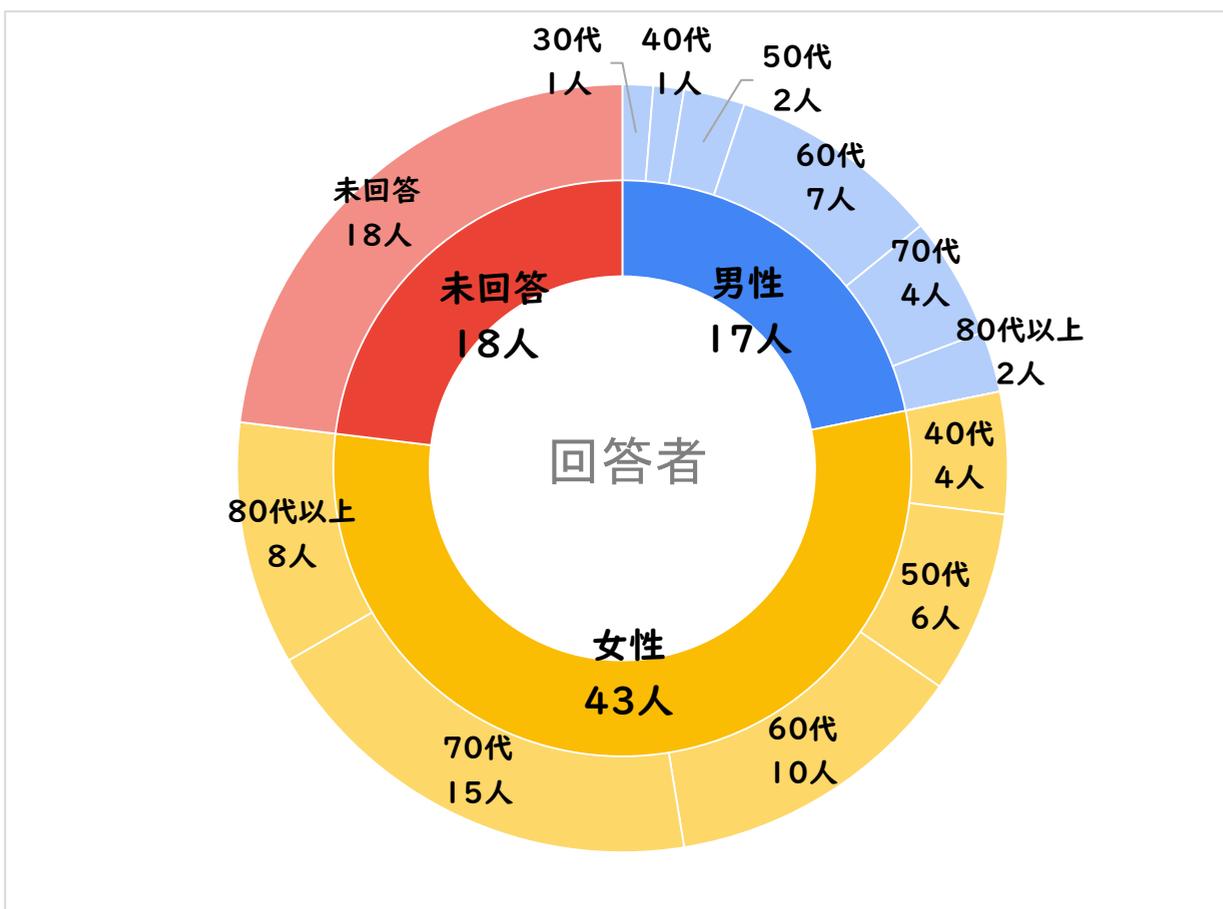


日時：令和5年12月16日(土) 14:00～
 会場：諫早市高城会館 1階大研修室
 講師：奥平 定之 先生(奥平外科医院院長)
 講演：アドバンス・ケア・プランニング -より善く生きるために-
 実践：私の思いを書いてみよう(山下職員説明)

1. アンケート回答者数

(単位:人)

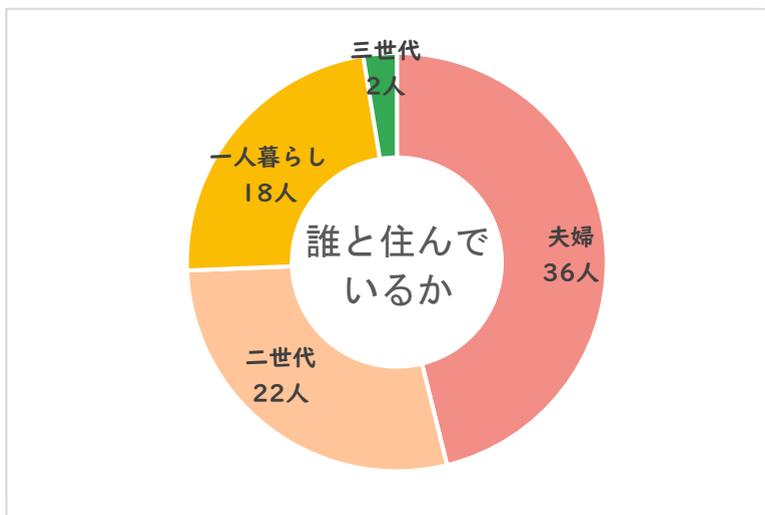
性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
男	0	1	1	2	7	4	2	0	17
女	0	0	4	6	10	15	8	0	43
未回答	0	0	1	0	0	10	7	0	18
合計	0	1	6	8	17	29	17	0	78



2. 現在、誰と住んでいますか？

(単位:人)

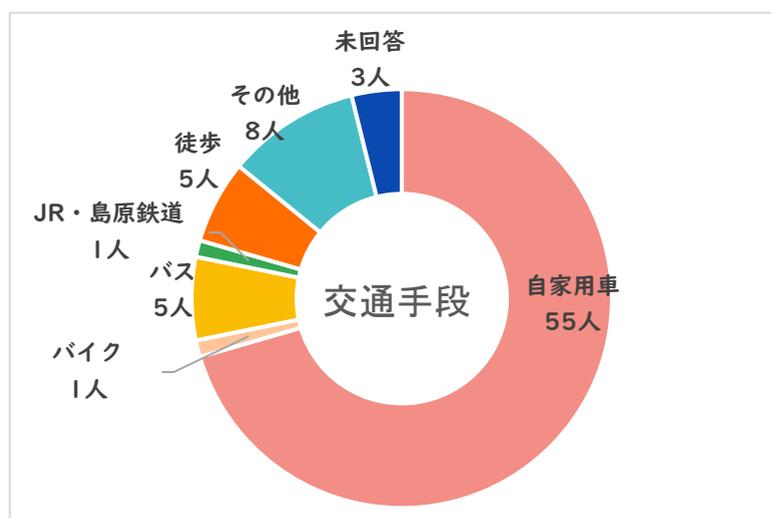
夫婦	二世帯	一人暮らし	三世帯	その他	未回答
36	22	18	2	0	0



3. 本日の交通手段

(単位:人)

自家用車	バイク	バス	JR・島原鉄道	徒歩	その他	未回答
55	1	5	1	5	8	3



【その他内容】

- ・タクシー
- ・友人の車

4. 今回の講演会を知ったきっかけ（複数回答あり）

（単位：人）

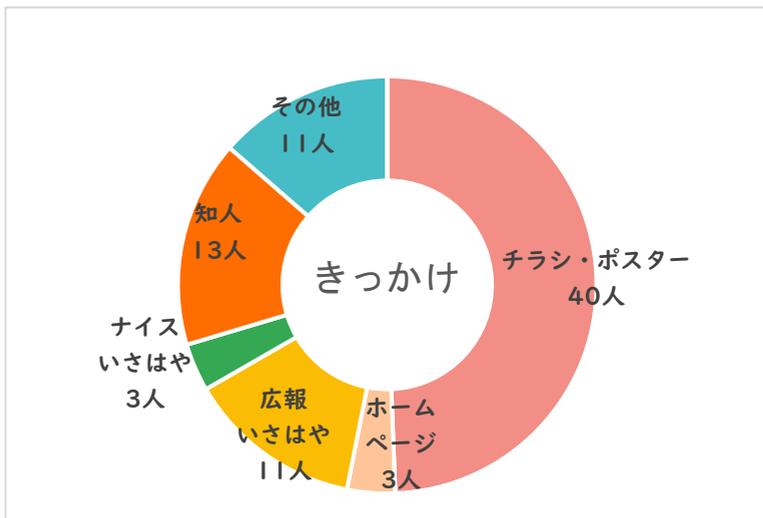
チラシ・ポスター	ホームページ	広報いさはや	ナイスいさはや	知人	その他	未回答
40	3	11	3	13	11	0

【チラシ・ポスターの設置場所】

- ・市役所(6)
- ・諫早市役所の福祉課
- ・駅
- ・図書館(2)
- ・奥平外科医院
- ・上山荘
- ・病院 諫早病院
- ・民生委員定例会でチラシを入手した。
- ・諫早駅
- ・病院

【その他の内容】

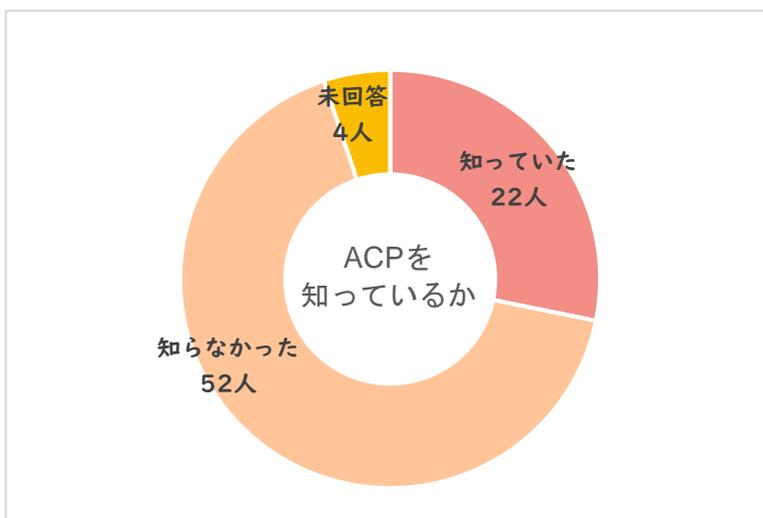
- ・民生委員(知人)
- ・民生委員定例会
- ・妻から聞いて
- ・ケアマネジャー
- ・職場に案内あり
- ・地域の老人会
- ・妻からの誘い
- ・デイサービス



5. 本日の講演会よりも前からACPを知っていましたか？

（単位：人）

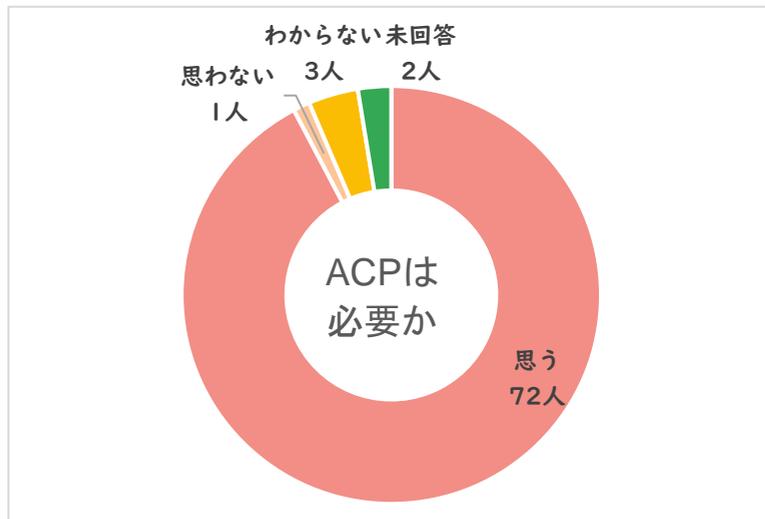
知っていた	知らなかった	未回答
22	52	4



6. ACPは必要だと思いますか？

(単位:人)

思う	思わない	わからない	未回答
72	1	3	2

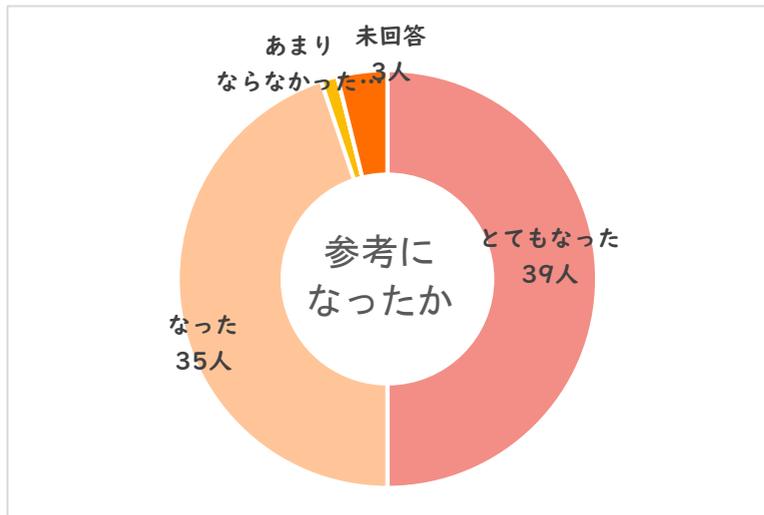


7. 本日の講演は参考になりましたか？

(1) 講演「アドバンス・ケア・プランニングより善く生きるために」

(単位:人)

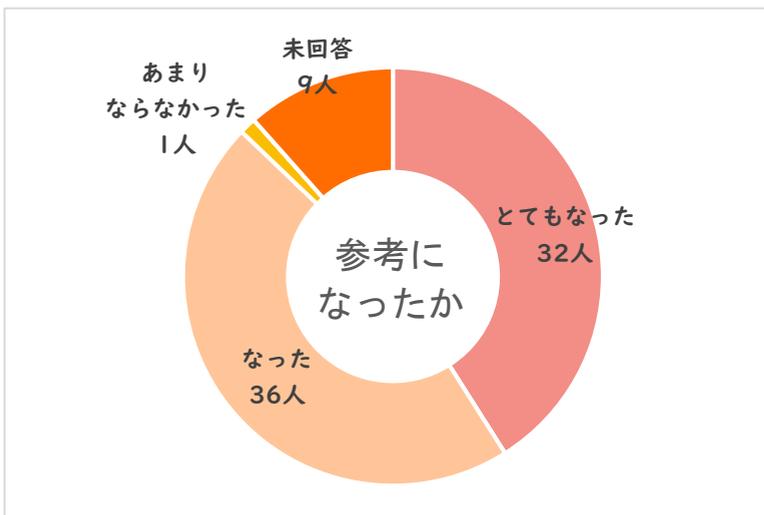
とてもなった	なった	あまり ならなかった	ならなかった	未回答
39	35	1	0	3



(2) 実践「私の思いを書いてみよう」

(単位:人)

とてもなった	なった	あまり ならなかった	ならなかった	未回答
32	36	1	0	9



8. 本日の講演会についてご感想をお聞かせください。

<実践>

- ・50代ですが同年代の友人が年に1~2人亡くなっています。人事と思えなくなってきて、いざという時のために家族、兄弟と話し合いたいと思いました。
- ・まずは家族でこれからの生活のことを話してみようと思います。そういう時間をあえてつくるのが大事だと感じました。
- ・参考にしながらよく考えてみたいと思います。家族に伝えるキッカケにしようと思いました。
- ・自分で死ぬ日を決めたい。(回復が望めない時に)
- ・ACPについて知らなかったので、家族で集まった時に話してみようと思いました。友達とも話してみようと思います。
- ・漠然と考えていた事が具体的でよかった。最後自分の考えをまとめてみたい。

<要望>

- ・今日の講演会次からも何度も繰り返し行ってほしい。
- ・今後ACPを市民に広めてほしい。
- ・市民に向けて講演会を実施して！最後は施設が良いと思う。
- ・後ろの席の方々から、ACPの考えた方が、怖かね~、家では大変よ~という言葉が聞こえて来ました。もっと身近な形(自治体単位、サロン、学校での親子みたいな)で広めたらよいな~と感じました。

<体験>

- ・このような講演会が増えるといいなと思います。施設に勤務していますが、「このような終末を本当に本人は望んでいるのだろうか」と思うことがたびたびあります。もっと早くから人生会議を開き、自分の意志を伝えていたら、きっと「母は望んでいませんでしたから」と家族の方が話されることもあると思うのです。実践でこの場で書いてもらうのは良い方法だと思います。
- ・主人は在宅医療でした。大変だったけど、最後は家族で看取り良かった。自分の事もよく考えようと思いました。
- ・胃ろうは絶対にしたくない。母が胃ろうで苦しんだので、とても申し訳ない日々だった。今は物忘れと探し物が増えました。痛みは止めてもらいたいが、在宅での生活は無理と思う。子供2人には迷惑をかけたくない。認知症になりそうで心配です。ACP-人生会議は子供達とはできません。

<ACP冊子>

- ・最後のページが重要かと思った。いつの年代で書くのかが大変重要と思った。60代と90代で想いが違うと感じた。
- ・おばが認知症(アルツハイマー)になり、在宅生活を継続できるように支援をしています。この講演をもとに、おばの気持ちを事前に確認してみたいと思います。質問の時に冊子に胃ろう、点滴などの項目があるといいと言われてましたが、あるといいと思いました。
- ・講演ありがとうございました。質問にもありましたように、奥平Drのスクリーンにありました内容を冊子にも細かく記入していただければと思いました。

<かかりつけ医>

- ・考えるべき年令になったのだなと改めて思った。個人の病院でない場合、かかりつけ医についてもはっきり先生におたずねするべきか、不安である。ACP、知りませんでした。
- ・先のことを考えることの大切さを知ることができた。かかりつけ医の必要性を感じた。
- ・今まで病気知らずで病院にかかることがほとんどなかったですが、「かかりつけ医を持つ」とお話を聞き、60才過ぎて何でも相談できるかかりつけ医が本当に必要だと考えさせられました。在宅医療の事も思っていたことを少し違ったり、とても今日は参考になりました。

<感想>

- ・いつか来る自分の最期を考える事が出来てよかった。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。またこんな機会がありましたら、ぜひ参加したい思っています。今の所はっきりわからない。今は元気だし自分の足でどこでも参加できますので、希望をもって過ごしておりますので、本当にわからなくてすみません。
- ・先生の言葉がよくわからなかった。
- ・今日の日を自分を見つめることになりました。一人暮らしなのでどうなるか日頃いつも自分で最後まで人に迷惑をかけないで生きたいと思ってましたが、誰かにお世話にならないといけない自分なので、そのことがずっときになっていましたが、いろんな方法があることを知り、今日は自分の生き方をして最後のことを知ることができてとてもありがとうございました。
- ・初めての参加でした。大変勉強になりました。もう一度考えなければならぬと思います。
- ・折角のよいお話であったが、言葉がはっきり聞き取れなかった。老人ばかりなので、はっきりくっきり聞こえるようにマイクの調整をしてほしかった。(声が通るマイクを用意してください)資料がわかりやすかった。
- ・遠方の実家の両親に今後について自身がキーパーソンになることに対する不安がありましたが、お話を聞いたことで少し気持ちが落ち着きました。
- ・漠然としていましたが、質問についてはゆっくり考えてみました。
- ・ありがとうございました。諫早にもチーム医療のシステムはあるのでしょうか？今後お世話になっていく医療について自分の意志を持つことですね。今日のお話を参考にします。
- ・”縁起が悪い”という言葉が出るのは、一般的なことかなと思う。人間いつどんな時に会うかは一寸先はヤミ。日頃から家族でたくさん話し合うことだと感じました。
- ・家族が男ばかりで遠くに離れているので将来のために考えようと思った。
- ・その時の状態で考えも変わると思うが、駄目になったら、自然のままに楽に死にたいと思います。
- ・講演を聞いて、最後までより良い人生を送りたいと思った。最後は自宅か施設、病院かは迷うところもあるが、自宅では家族に迷惑をかけるので病院等がよいと思った。
- ・誰でもさけては通れない死。年を重ねてより強く感じるようになりました。自分の死は人に迷惑をかけないようにと願っていてもどうなるかわかりません。2, 3日前に孤独死をされた方がおられ、身に染みて死は自分の思い通りにならない事を実感しました。講演会を受けて、今後、残された命を大切に使わなくてはなと思いました。マイクのせいか聞き取れない時があったのがもったいないように思いました。
- ・覚悟が決まった。
- ・講師の話を書いて、改めて、将来のことについて話し合う必要を感じました。将来はどうなるかわかりませんが、幸せな一生を送りたいものです。
- ・まず、自分の思いを家族に伝えておくことが必要だと感じました。
- ・本日は貴重なお話ありがとうございました。まずは、参考にさせていただき、家族とフランクに話したいと思います。寒さに向かう折、御身体大切に御活躍をお祈りします。
- ・ACPの大切さが理解できました。しかし自分の今すぐ実践できるか疑問である。今後真剣に考えておく必要があると思います。